

「広島神楽」定期公演へようこそ！

公演日 12月24日

出演団体のご紹介

綾西神楽團 ～あやにしかぐらだん～（広島市安佐北区）

綾西神楽團は昭和56年、地元の若者十数名により「綾西神楽同好会」として発足しました。

結成時、神楽経験者は誰もいない、衣装も道具もない状態でしたが、地元住民の厚意で寄付を頂き、中古衣装、道具一式などを揃えていただくとともに、当時、神楽団を結成し活動されていた二名を指導者に招き、スタートしました。その後、地区の高校生が集まり、団員も増え名称を「綾西神楽團」と改め、「神楽を楽しみ、見る人に感動を与える神楽団」を目指し、活動を続けております。新・旧両舞に独自の演出を加え、各地の神社例祭、各種イベント、老健施設などに慰問し活動しています。

練習は週3日、自分たちの神楽確立のため、日々精進しています。

19:00～ 演目①

悪狐伝 ～あっこでん～

平安時代の中頃、美しき女人・玉藻前（たまものまえ）が鳥羽天皇に仕え、寵愛（ちょうあい）を受けはじめると、天皇の深いが重なり始めます。不信を感じた陰陽師・安部泰親が占うと、玉藻前は姪酒によって王を誘惑し、悪の限りを尽くして中国から飛来した金毛九尾の狐の化身であることが判ります。正体を見破られた妖狐は、下野（しもつけ）の国・那須乃ヶ原（なすのがはら）に逃れます。そこで狐は様々な姿に身を変え、悪行を重ね里人を苦しめました。

再び美しき女人を装うと、狐は迷い人となって女人禁制の十念寺に現れ、和尚・珍斎（ちんさい）をとり喰らいます。その後、悪狐退治の勅命を受けた弓の名人・三浦介（みうらのすけ）と上総介（かずさのすけ）によって退治されるという物語です。

【出演】

玉藻前	—	升田 竜矢
三浦介	—	若林 弘志
上総介	—	玉城 啓一
珍斎	—	若林 佑紀
狐	—	若林 佑紀

大太鼓	—	尾崎 雄也
小太鼓	—	若林 洋子
手打鉦	—	佐々木 康介
笛	—	佐々木 もも子

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

20:00～ 演目②

大森彦七 ～おおもりひこしち～

建武3年（1336年）湊川の戦い（現在の神戸市）に敗れた朝廷軍の楠木正成（くすのきまさしげ）、正季（まさすえ）兄弟は、いざことなく落ち延びて行きます。戦いに勝利した幕府軍の足利尊氏（あしかがたかうじ）は正成、正季追討を伊予の国の住人で武勇に優れた大森彦七に命じます。

生き残った家臣、郎党を引き連れて、再起を謀る正成は湊川北方の古寺に立てこもりますが、追討令を受けた大森彦七に追いつかれ降伏するように促されます。正成は後醍醐天皇の臣として降伏は帝を裏切ることと同じであると、これを拒否し、大森彦七との最後の合戦に臨みます。斬り合いの果てに弟・正季は討たれ、最後の力を振るう正成もついに力尽き、自害して果てるという物語です。

【出演】

大森彦七盛長	—	升田 竜矢
楠木正成	—	若林 弘志
楠木正季	—	若林 佑紀

大太鼓	—	尾崎 雄也
小太鼓	—	若林 洋子
手打鉦	—	玉城 啓一
笛	—	佐々木 もも子

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

終演後（20:45頃～）記念撮影会を実施します。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。